

生徒指導	規範意識の醸成を目指し、規律ある高校生活を確立させる。	コロナ禍の中、感染予防対策を徹底し体調管理に努める。欠席総数330以下、年間皆出席78%、校門遅刻60以下の達成を目指す。 登下校時の通学マナーの向上に努め、事故0を目指す。 規範意識の向上に努めながら、担任と連携して保護者対応を行う。問題行動件数年間15以下、特にSNSに関する問題行動の減少に取り組む。	C	B	コロナに対する基準も見直しが行われるため、欠席に対する意識を高めさせるとともに、引き続き感染予防対策を徹底し体調管理に努める。 登下校時の通学マナーの向上に努める。 SNSに関する問題行動の減少に努めるとともに規範意識の向上を目指す。 LHRの充実を図る。
	特別活動の充実を図る。	LHRの充実を図る。成人年齢の引き下げについても意識させる 部活動に対して高い意識を持たせ、高い目標を持って活動する生徒を育成し、全国大会、近畿大会出場、入賞を目指して取り組む。	B	B	高い目標を持たせ取り組ませる。
	道徳教育の充実を図る。	いじめをなくし、豊かな人間性を目指すとともに思いやりのある生徒を育成する。	C	C	いじめをなくし、思いやりのある生徒を育成する。
	ボランティアの充実を図る。	コロナ禍においてボランティア活動への参加が難しい状況であり、ボランティア精神を養わせる取り組みを行う。	B	B	ボランティア活動への参加を呼び掛けること、ボランティア精神を養わせる取り組みを行う。
	安全教育の推進を図る。	防災・防犯意識を高めさせ、危機管理意識の醸成に努めさせる。	B	B	防災・防犯意識を高めさせ、危機管理意識の醸成に努めさせる。
	校内や通学路の美化に努める。	清掃活動を徹底させ、常にきれいな環境で生活できるように校内美化に努める。 四季の花を通じて常に季節を感じられる学校づくりを目指し、校内の緑化を充実させる。	B	B	ゴミ処理の徹底を行い、校内美化に努める。 校内の緑化を充実させる。
	生徒の実態と希望に応じた進路指導の実現を目指す。	引き続き4年制大学進学希望者の内、国公立大学及び難関私立大学の合格者を50名、中堅私立大学以上の合格者を75%以上を目指す。 希望する職種の確保、優良就職先の継続、卒業生の離職の減少のため、積極的に企業訪問を行い早期に就職決定率100%を目指す。	C	B	進学に関しては今まで通りは通用しないという認識を持ち、早期から働き掛け、目標をしっかりと持って受験に臨む意識の醸成に努める。 就職に関しては、来年度も同じように努力を続け、引き続き早期での就職決定率100%を目指す。
進路指導	積極的な進路情報の提供。	全職員の共通理解と組織的かつ計画的な取組を目指し、情報を共有し、組織として小論文や面接等の指導に取り組む。 今後の進路指導の進むべき方向を見定め、今後5年及び10年の指針の礎を築く。 入試説明会の参加および個々の大学訪問を推進し、新テストに向けての情報を収集してデータの共有できる体制を構築する。	B	B	情報収集と共有に関して新しい手法を検討するとともに、小論文指導の新しいシステムの検討に入る。 経験や個人の積み重ねだけではなく、数値に立脚した受験指導の手法を積極的に学ぶ。 説明会や大学訪問だけでなく、卒業生も使って情報を集め、毎年更新して行ける書式を作る。
	キャリア教育の推進。	早期から進路に対する関心や意識を持たせ、様々な活動を通して、生徒一人一人に応じた指導を行い、しっかりとした勤労観や職業観を養う。 生徒それぞれと綿密に関わり、生徒が人生を模索する上での適切なアドバイスができるよう教員が研鑽に励む。	B	B	進路意識同様に、検定の取得も自らのキャリアに大きく関わってくることも認識させ、低学年から計画的に各種検定を取る意欲を出せるようにする。 機会を設けて社会との接点を教員が持ち、生徒各自が主体的に自らのキャリアに取り組めるようにする。
	図書館の利用者や貸出冊数の増加、読書習慣を身につけ図書館活動を充実させる。	図書委員を中心に図書館活動を活性化させる。また、図書館利用促進の広報活動等も行い、図書貸出冊数年間150冊以上を目標にする。自習室としての利用も奨励する。	C	C	図書館の活動を計画的に行い、図書館活動や自習室としての活動を果たすように計画し、利用者数の統計をとる。図書貸出冊数を100冊以上を目標に読書の習慣づけをおし進める。
	文化部長官賞を活性化させる。	部活動は新入生の部員確保を積極的に行う。また各種競技大会の近畿・全国大会の出場選手20名以上を目標とする。活動を活性化し、更に上位入賞を目指す。	A	A	県内予選の上位入賞、近畿・全国大会の出場を目指し、毎日の活動の活性化を目指す。また、活動の紹介を積極的に行い、また部員の確保に努力する。
文化厚生	文化的行事を充実させ、意義のあるものとする。	舞台発表のレベルを上げ向上を図り、見応えのある舞台を目標とする。模擬店の販売品目・方法を精選する。 文化委員に自覚と役割を理解させ、文化委員を中心に準備・企画・運営を計画的に行う。また各クラスの創意工夫を促し、クオリティの高い文化祭を目指す。	C	B	舞台出演を早い時期から取り組み、クオリティが高く節度のある舞台出演を目指す。またクラス全体の協力や協調性を養う。 三年ぶりに芸術鑑賞会を行った。演劇の良さや醍醐味を経験した。また市商祭は例年の規模に近づけるように計画する。文化委員の活動として、企画・運営・準備・片付け等を積極的に行うように計画する。
	広報活動を積極的に行い、内容を充実させる。	ホームページ・学校新聞・学校パンフレット等の内容を精査・再検討を行い、更に広報活動としての機能の充実を図る。また、他校の広報活動を研究し、今後の活動に生かす努力をする。創立70周年に向けた取り組みを行う。	B	B	広報活動としての、学校新聞や学校パンフレット等の構成に創意・工夫を行い、わかり易い内容を精査・再検討、充実した活動を立案・計画する。
	体力の向上を目指した授業に取り組む	スポーツテストでA判定を160名以上を目指す。 スポーツを通じて心身共に鍛え、怪我の防止に努める。 安全にスポーツが行えるように環境整備に取り組む。	C	B	スポーツテストA判定121名と感染症拡大の影響で1年生男子が例年に比べ少なくなった。次年度以降の入学生も体力の低下が考えられるため生徒の実態に合わせた取り組みを実施したい。
保健体育	健康教育の推進	健康意識を高め、感染症の予防に努める。 外部講師を活用したがん教育の実施 学校保健委員会に向け、資料や情報を整理し、健康への意識を高める。	B	B	二年続けて外部講師を活用したががん教育を実施することができた。次年度も実施できるように検討していきたい。感染症については緩和傾向にある中、行事について検討していきたい。
	部活動を通じてバランスのとれた生徒の育成	全国大会や近畿大会の出場選手を延べ250人以上を目指す。 学校生活と競技力の向上にバランスよく取り組ませる。	C	B	全国大会・近畿大会出場選手延べ187名となり、各部が高い目標をもって取り組める環境づくりが必要である。
	一人ひとりのつながりを大事にして、命を大切に	プリント資料・DVD等を提供して、最近の諸問題に対応した話し合いのHRの充実を図る 各種アンケート（いじめ・情報機器）を通して実態把握と共に、早期発見・対応に努める。 いじめ件数の0を目指す。 教育相談活動の充実を図ると共に、スクールカウンセラーや養護教諭と連携を密にして生徒の実態把握に努める。	B	B	LGBTについてはDVD視聴により生徒ひとりひとりが考えることができた。次年度も継続していきたい。 いじめに関しては低学年になるほど認識が甘い。LHRなどの時間を活用し、周知していく必要がある。 SCは必要な生徒に適宜、実施することができた。
人権教育	一人ひとりの違いを個性や豊かさにとらえ、違いを認め合えるなかま作りを行う。	各種交流会やボランティア活動への自主的・自発的な参加を促し、HR等で発信する。 「なかまだより」の内容を、保護者がより関心を持ち読んでいただけるようにする。 職員研修の年1回実施や各種研修会への積極的な参加を要請し、実践力の向上に努めていただく。	B	B	ボランティアへの参加は、生徒会からの声掛けにより実施することができた。 職員研修は教育相談の内容で実施することができた。
	上級資格検定の取得を目指す。	2年時に全商1級3種目以上取得者180名、3年時は190名以上と取得率の日本一を目指すため、検定取得に向けた補習を計画的に取り組む。 日商簿記やITパスポートの受検を促し、合格者を増やす。	B	B	目標人数を意識しながら、達成に導いていけるようにする。 学習指導要領改定にともなう検定試験の出題範囲変更に対応する。
	生徒研究発表近畿地区大会を成功させる。	大会が安全に実施できるように綿密に計画を立て、外部の関係機関および教員間の連携を図る。	A	A	校内で会議を重ね、県内の先生方とも連携を取り、成功に導いた。
	ビジネスプランに基づいて知識と技術を習得させる。	企業や地域等と連携し、取り組みを行う。 各種コンテスト等への参加を促す。	C	B	外部と連携して取り組みができるように、情報を収集し、積極的な参加を促すように努める。
地域連携システムの強化に努める	産業教育フェア等を利用し、地域の方との体験をさせる等イベントに積極的な参加を呼びかける。	B	B	産業教育フェアに生徒が参加できるようになり、今後も地域の方とのイベントに参加するように促す。	